

小林市長 様

住所

（個人：居住地
法人：会社の所在地）

商号又は名称

[法人の場合のみ記載]

代表者職氏名

印

電話番号

法人番号 [法人の場合のみ記載]

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

小林市感染症対策営業時間短縮要請協力金交付申請書兼誓約書

小林市感染症対策営業時間短縮要請協力金（以下「協力金」という。）の交付を受けたいので、下記のとおり申請します。

また、記載事項、添付書類及び関係帳簿の内容は真正であることを誓約し、かつ、「2 誓約・同意事項」の各項目について誓約及び同意します。

記

1 交付申請額 _____ 円

2 誓約・同意事項（□にチェックを入れてください。）

- 各関係団体又は県が作成した新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのガイドラインを遵守すること。
- 必要に応じて、県又は市が事業者名等を公表すること。
- 協力金の交付要件について確認するに当たり、県及び市が、その保有する公簿等を確認すること。
- 申請内容の証拠書類を保存するとともに、申請内容について、市からの調査や報告の依頼があった場合には、真摯に協力すること。
- 申請書類に記載された情報が、必要に応じて関係行政機関に提供されること。
- 申請者（個人及び法人等の役員等）は、次のいずれかに当てはまる者でないこと。
 - ・暴力団又は暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
 - ・暴力団員がその経営に実質的に関与している者
 - ・自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって暴力団を利用している者
 - ・暴力団若しくは暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持運営に協力し、若しくは関与している者
 - ・暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
 - ・暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれを不当に利用している者
- 誓約事項に虚偽があった場合又は同意事項に反した場合は、協力金の交付に関して不利益を被ること及び事業者名等を公表することとなっても一切異議は申し立てないこと。
- 小林市感染症対策営業時間短縮要請協力金（令和4年1月要請分）交付要綱又は補助金等の交付に関する規則の規定に基づく協力金の返還の請求を受けたときは、速やかに返還すること。